

受け継がれる伝統と技 山之口文弥節人形浄瑠璃



島津家の参勤交代に同行した山之口麓の郷土たちが、関西で流行していた浄瑠璃を郷土に持ち帰って広めたと言われる麓文弥節人形浄瑠璃。300年前から伝わる古い形式をそのまま継承しています。この形式は現在全国に4カ所しか伝承地がなく、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

◎問い合わせ 山之口地域振興課 ☎57-3116

思いを伝える活動

山之口町麓地区の人形浄瑠璃は、大正末期までは地区の祝いや落成式などで盛んに上演されていました。日中戦争や太平洋戦争の影響で一時期途絶えていました。

昭和24年、坂元業衛さんらを中心に人形浄瑠璃の復興が始まり、その後、山之口麓文弥節人形浄瑠璃保存会が誕生。同保存会の活動により、現在まで麓地区に受け継がれるとともに、年4回（3月、6月、9月、11月）の第3日曜日に定期公演を開催して人形浄瑠璃を伝えていきます。

【次世代につなぐ伝承活動】
文弥節人形浄瑠璃の保存・伝承を



麓小学校6年

とやま ゆみ
外山 結望さん

小学4年生から山之口文弥節人形浄瑠璃の練習をしています。思い通りに人形を操ることは本当に難しいですが、学校のみならず一緒に取り組んでいるので、楽しみながら練習できています。

コロナ禍で地域の行事が中止されるなど、なかなか披露する機会がありませんが、今は3月の定期公演に向けて練習しています。

私たち6年生は、次の定期公演が人形浄瑠璃を披露する最後の機会になるので、両親や祖父母にほめてもらえるよう一生懸命頑張りたいです。

人形の館情報

図るため、麓小学校5・6年生は、平成6年から保存会と共に「人形浄瑠璃伝承活動」で練習に取り組む、伝統と技をつないでいきます。

1 ●住所 山之口町山之口2921-

●開館時間 9時30分～17時（ただし、入場は16時30分まで）

※毎週月曜日、祝日、年末年始休館

●観覧料

一般220円、高校生160円、

小・中学生110円

※定期公演の際は、別料金が必要